



おさかな瓦版 No. 105

2022.1



ハリ

かい そう
海藻シリーズ

だい 5 かい
第5回

ふーちゃんのトピックス

だい 40 かい うみ じ ゆう けんきゅう さく ひん
第40回「海とさかな」自由研究・作品コンクール
すい さん けんきゅう きょうい く き こウ リ じ ちようしやう けつ てい
水産研究・教育機構理事長賞が決定



ノリ

～海苔の歴史はめっちゃ古い!～

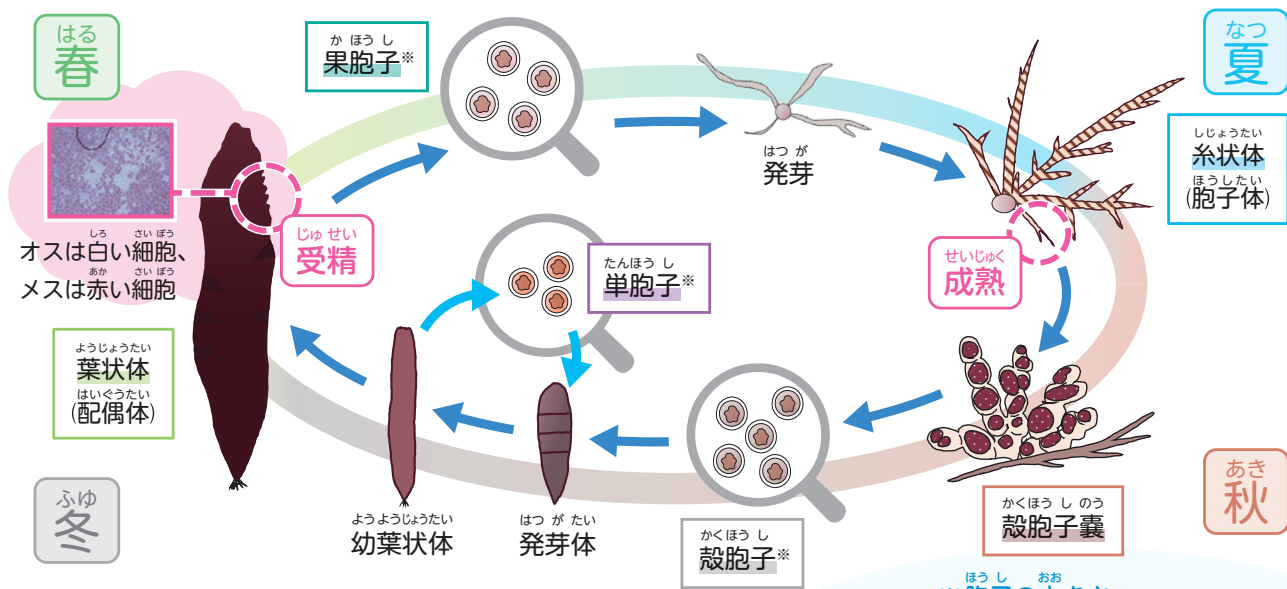


1 海苔

ノリは日本人にはよく知られた海藻のひとつです。『海苔』という漢字は、奈良時代(710年～794年)に書かれた本に出てきていて、江戸時代(1603年～1868年)にはノリ養殖も始まっています。皆さんも、海苔(1)を食べたことがあると思いますが、海苔は黒く見えますね。でも、海苔の材料になる

のは紅藻という赤い海藻の仲間です。海苔には、スサビノリやアサクサノリなどの種類が使われますが、お店の商品のほとんどはスサビノリ(2)が材料です。

スサビノリは、冬から春にかけて成長します。皆さんが食べている海苔は、葉状体(配偶体)です。



★ スサビノリの一生

※ 胞子の大きさ
直径10～15マイクロメートル
(1マイクロメートルは1ミリの千分の一)

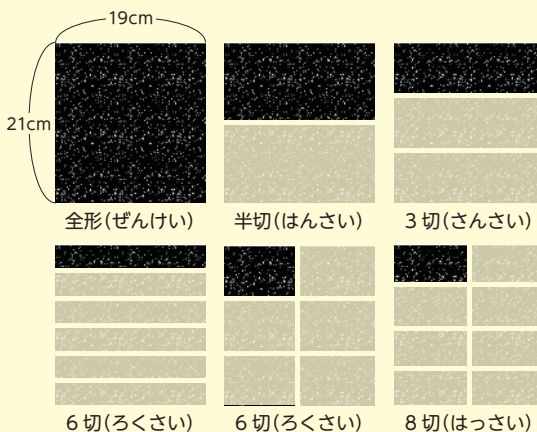


あんじいのワンポイントアドバイス

海苔の大きさ

海苔1枚の大きさは、タテ21cm×ヨコ19cmと決まっているのじゃ。海苔の商品には、全形、半切、3切、6切、8切といった表示があって、これは海苔の切り方を表している。全形は海苔を切っていない、半切はタテ2等分、3切はタテ3等分、6切はタテ6等分かタテ3等分×ヨコ2等分、8切はタテ8等分かタテ4等分×ヨコ2等分という意味なのじゃ。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です



はる 春になると葉状体には、
オスとメスの細胞がで
きます。オスとメスが受精
すると果胞子が出て、
糸状体(胞子体)になり
ます。この糸状体は貝殻



2 養殖されている
スサビノリの標本

などの中に潜り込んで成長し、夏を越します。秋に
なると、糸状体は殻胞子嚢を作り、殻胞子を出し
ます。殻胞子は成長すると、葉状体になります。
葉状体の大きさが2ミリメートルくらいの時に、
葉の先の方から単胞子をたくさん出します。単胞子
も成長すると、葉状体になります(★)。

ノリ養殖は、網に殻胞子を付けて海に出します
(3)。成長の途中で大量の単胞子も網に付く
ので、たくさんのノリを作ることができます(4)。



3 ノリ網に殻胞子をつける作業

たくさんの殻胞子と海水が入った水槽で、
ノリ網を巻き付けた水車を回して網に殻胞子をつけます



4 海でノリを養殖しているようす

ノリ養殖は、佐賀県、福岡県、熊本県、兵庫県、宮城
県などが盛んです。ノリは1年間で30万トンほど
生産されて、70億枚ほどの海苔が作られています。
しかし、最近では、水温上昇でノリ養殖を始める
時期が遅くなったり、養殖できる期間が短くなっ
ています。また、ノリの成長に必要な栄養が海水中に
不足して、ノリが黄色くなる「色落ち」という現象も
起こっています。さらに、養殖しているノリをクロ
ダイやカモなどが食べてしまうという問題も起き
ています(5)。水産研究・教育機構では、ノリ
を生産している県と協力して、このような問題を
解決するための調査や研究を行っています。



阿部 真比古

5 養殖しているノリを
食べているクロダイ
山口県水産研究センター提供



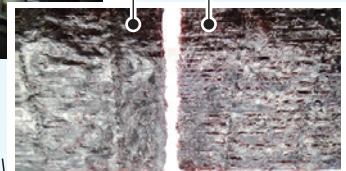
チェック

海苔には表と裏があります。ノリから海苔を
作るときに海苔簀の上で乾燥させるので、海苔
簀に付いていない方は、乾燥するとツルツルに
なります。反対に、海苔簀に付いている方は、
海苔を海苔簀からはがす時にガサガサになり
ます。ツルツルは表、ガサガサは裏になります。

のり おもて うら ちが
海苔の表と裏の違いはツルツルとガサガサ



のりす
海苔簀



おもて
表

うら
裏





たくさん
応募してくれて
ありがとう!



第40回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

水産研究・教育機構理事長賞が決定

「海とさかな」自由研究・作品コンクールの表彰式が2021年12月11日、オンラインで行われました。研究部門では山田 彩陽さん(香川県・小学6年生)の自由研究の観察図「うどん県に欠かせない伊吹いりこ」、創作部門では大瀧 凌さん(兵庫県・小学6年生)の絵画「にんじゃ左又マガレイ」がそれぞれ水産研究・教育機構理事長賞を受賞しました。

※このコンクールは、小学生を対象に、いろいろな体験を通じて「海とさかな」について学んでもらおうと、朝日新聞社・朝日学生新聞社が主催、日本水産株式会社が協賛し、当機構などが後援しています。

研究部門

自由研究

うどん県に欠かせない
伊吹いりこ



香川県・小学6年生 山田 彩陽さん



創作部門

絵画

にんじゃ左又マガレイ



兵庫県・小学6年生 大瀧 凌さん



フーちゃん と



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 NO.105 (2022年1月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地25
テクノウェイブ100 6階

TEL.045-277-0136 (広報課) FAX.045-277-0015

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

Twitter



Twitter https://twitter.com/fra_go_jp

Facebook



Facebook <https://www.facebook.com/fra.go.jp/>

YouTube



YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC1ITVAdqC6P9vmHAUieAN90>

表紙の写真



海中のノリ

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。